

## 河川事業特集 &lt; 桂沢ダム：様々な面で生活を支える多目的ダム &gt;

幾春別川の上流には桂沢ダムがあり、洪水から地域を守るだけでなく、電気や水道用水、農業用水などを供給することで暮らしを支えています。

桂沢ダムの歴史は古く、北海道開発の一環として昭和 26 年に着工、32 年に完成しました。当時の幾春別川下流域は度々洪水に見舞われており、また干害などによって多額の被害を受けていました。このような災害を防ぐと共に、水田開発による食料増産、水道用水の確保及び電源を開発して北海道の電力不足を解消するため桂沢ダムは建設されました。このような複数の目的のために作られたダムを多目的ダムと呼び、桂沢ダムは北海道で最初の本格的な多目的ダムです。

## 桂沢ダムの概要

ダム完成年：1957 年  
河川名：幾春別川  
型式：重力式コンクリートダム  
高さ：63.6m  
堤頂長：334.25m  
流域面積：151.2km<sup>2</sup>  
総貯水容量：92,700 千 m<sup>3</sup>



## 桂沢ダムの役割

## 洪水対策

大雨の時、ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込むことで下流河川の水位上昇を抑え、洪水を防ぎます。



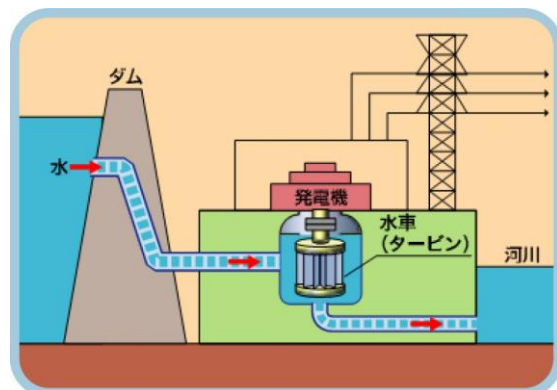
## 農業用水

三笠市や岩見沢市などの農地にかんがい用水を供給しています。



## 発電

電源開発(株)桂沢発電所ではダム放流における水の落差を利用した利用した水力発電を行っています。1 年間につくられる電気の量は、一般家庭約 3 万 6 千世帯が 1 年間に使う電気量に相当します。



## 水道用水

1 年を通して水道水の元になる水を供給しています。この水は専用の管を通り浄水場へ運ばれ、浄化されてから岩見沢市、美唄市、三笠市の家庭へ送られていきます。

## 桂沢ダム管理支所

富良野芦別道立自然公園内にある桂沢ダム管理支所では、ダムの堤体や貯水池の安全を確保するため**ダムの点検・補修**や**ダムに貯留した水の運用**などを行っています。

### ダムデータの観測

ダムに貯めた水を計画的に運用するため、降雨量や積雪量などの気象データやダムの貯水位を観測しています。ダム堤体内の漏水量なども観測し、ダムの挙動を把握しています。



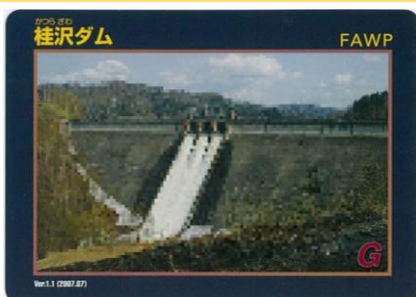
### ダム施設の点検・補修

ダム堤体などの施設に異常がないかを把握するため、巡視により点検を行うとともに、老朽化した施設は、順次補修を行っています。



### ダムによる洪水調節

放流ゲートを操作することで洪水の一部を貯留したり、かんがい用水などのために川に水を供給します。ダムから放流を行う時は、警報局からサイレンによる警報とアナウンスを行っています。放流により川の水位が急激に上昇するため、警報が聞こえたらすぐに川から離れるようにしてください。



ダムのことをより知ってもらうため、**ダムカード**を配布しています。ダムを訪れた際は管理支所へお越しく下さい。北海道では**16箇所**のダムで配布していますので是非集めてみてください。

管理支所の開館時間  
9:00～17:15 (土・日・祝日を含む)

## 雪中植樹に参加しました

2/14(土)NPO 法人「山の無い北村の輝き」主催の雪中植林が開催されました。カミネッコン作成や植樹、雪中河川体験ツアーなどが行われ、河川を通じた地域交流の一つとして、岩見沢河川事務所からも参加しました。天候が悪い中、多くの子供たちが参加し、植樹体験を楽しみました。

### カミネッコンとは

再生段ダンボールを使った鉢で中に苗木と培養土を入れ、森を作りたい場所に置きます。数年後、木が成長する頃にはポットは風化してなくなります。



### お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課  
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL: 0126 (23) 9555

